

# I-RIEP Journal

かんぽけんぶんろく

vol. 21

2020年2月

「岩手県環境保健研究センター」では、県民の皆様の健康と  
いわての環境を守るため、健康・環境に関する科学的・技術的  
拠点として、次のような業務に取り組んでいます。

- 1 県民の皆様の健康や環境に被害のおそれがある場合の対応
- 2 健康と環境を守るための試験検査・監視測定
- 3 行政の課題に対応した調査研究
- 4 技術支援・情報発信・研修指導

広報誌「**環保研聞録**～I-RIEP Journal～」では

「環保研（かんぽけん）センター」の取組や健康・環境に関する情報を定期的にお届けしています。

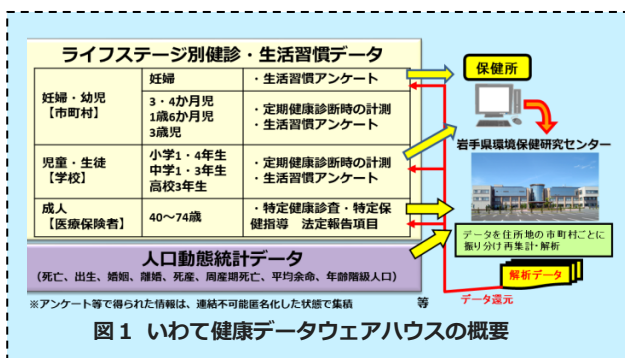
環保研聞録のバックナンバーは、  
ホームページからご覧いただけます。



[https://www.pref.iwate.jp/kanhoken/oshirase/i-riep\\_journal.html](https://www.pref.iwate.jp/kanhoken/oshirase/i-riep_journal.html)

## 県民の皆様の健康状況の「見える化」を進めています（保健科学部）

保健科学部では、県民の皆様の健康づくりの取組を支援するため、死亡や出生等の人口動態統計や健診・生活習慣等の健康に関するデータを一元的に集約・解析し、結果を還元する「いわて健康データウェアハウス」を運用しています。（図1）

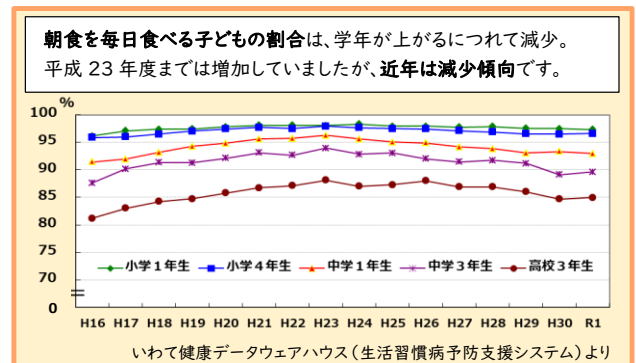


本システムの健診・生活習慣データは、県内市町村や学校、医療保険者のご協力をいただき、妊婦・幼児、児童・生徒を対象に生活習慣に関するアンケート調査を行い、成人は、特定健康診査・特定保健指導のデータを毎年度収集しています。これらのデータについて、県全体、地域・性・年代別、経年変化等様々な角度から分析し、県民の生

活習慣等の実態を把握し、県の健康課題を明らかにしています。また、県庁や保健所でも解析できる仕組みを整えており、結果は県の施策に反映させるとともに、関係機関に還元し、地域の健康課題の把握や各種計画の評価等に活用されています。

今後も、システムの集積情報の充実や詳細なデータ分析、わかりやすい情報提供等に取り組み、県民の皆様の健康状況の「見える化」を進めて参ります。

結果は、当センターのホームページから※1ご覧いただけます。ぜひ、ご活用ください。（図2）



## 特定健診・特定保健指導従事者研修を開催しました（保健科学部）

保健科学部では、特定健診・特定保健指導※2の制度（平成20年度開始）の円滑な運用と生活習慣病対策を効果的に推進できる人材を育成することを目的に、「特定健診・特定保健指導従事者研修」を平成19年度から開催しています。これまでの13年間で、開催回数は延114回、受講者数は延5,634人となりました。市町村国保等医療保険者が創意工夫のうえ推進する保健事業に、本研修内容を活かしていただいております。

このような中、本県の特定健診受診率は、各保険者の取組により、制度開始から年々増加していますが、平成28年度は52.0%（全国16位）と国が示す目標値70%には依然遠く、また、保健指導実施率は16.6%（全国38位）と目標値45%に対し大きく下回り、低率かつ横ばい傾向です。より効果的な事業の取組が期待されます。（図1.2）

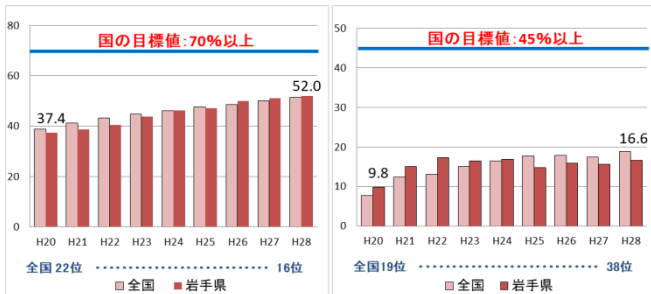


図1 特定健診受診率 (H20-28) 図2 特定保健指導実施率 (H20-28)  
(厚生労働省公表データで作成)

今年度も、特定健診・特定保健指導事業を推進する従事者を支援するため、本研修会を計5回開催しましたので、その概要を紹介します。

### 1 研修の概要

本研修は国のガイドラインに基づく「一定の研修（基礎編、技術編、計画評価編）」と、より専門的な知識と技術の習得を目的とした「スキルアップ研修」で構成されています。

令和元年度の実績は以下の通りです。

〔一定の研修〕	受講者総数	延 167 人
基礎編	6月24日(月)	受講者 61人
技術編	7月31日(水)	受講者 56人
計画評価編	8月27日(火)	受講者 50人
〔スキルアップ研修〕	受講者総数	延 83 人
第1回	10月23日(水)	受講者 38人
第2回	11月29日(金)	受講者 45人

### 2 受講者の属性

〔職 種〕	保健師	71.6%	管理栄養士	18.8%
	事務職等	9.6%		
〔所 属〕	市町村	75.6%	県保健所	4.0%
	健保等	20.4%		

### 3 研修内容

一定の研修における「基礎編」では、特定健診・特定保健指導の制度、メタボリックシンドロームの概念等について講義を中心に知識、最新情報の提供。「技術編」では、行動変容の理論、保健指導場面についてロールプレイ通じて実践。また、「計画評価編」では、データを活用した健康課題の抽出、事業の企画・評価とグループワークによる情報共有の機会を提供しました。

スキルアップ研修は、経験者を対象として実施し、一定の研修を補足する内容としています。今年度は「コーチング」と「動機づけ面接法」をテーマにコミュニケーション技術を体験しました。

### 4 研修結果

今年度実施した全研修会において、研修終了後にアンケート（回答数235人、回答率97.9%）を実施しました。その結果、9割の方が「講義の内容」について「理解できた、まあ理解できた」と回答。また、「事業への反映」では「反映できる、まあ反映できる」と回答していました。特に、一定の研修における「身体活動」、「行動変容の理論」、「PDCAサイクルに沿った事業展開」の理解が高い結果でした。しかし、自由記載において「頭では概念を理解できても、現場で実践できるか不安」との声もあり、反映への自信の低さも伺えました。

また、スキルアップ研修では、研修で学んだ知識や技術を「日頃の保健指導場面で即実践できる」として大変好評でした。（研修風景）

今後も、研修後アンケートによる評価や受講者ニーズも考慮しつつ、講義で習得した知識が各保険者における事業の推進に効果的に反映できるよう、研修企画に努めていきたいと考えます。



研修風景 スキルアップ研修「コーチング」

※2「特定健診・特定保健指導」とは

医療保険者が生活習慣病予防のため、40歳から74歳までの被保険者及び被扶養者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診と、その結果に基づき生活習慣の見直し等の保健指導を行うものです。

## 地球科学部業務紹介 (地球科学部)

地球科学部では、大気環境の保全の推進や地方環境研究所としては珍しい希少動植物の保全に係る調査・研究を行っています。

このうち、大気環境の調査・監視においては、県内に15の測定局を設置し、大気自動測定機50台により窒素酸化物、微小粒子状物質(PM2.5)等の大気汚染物質を24時間測定しています。

本県の大気環境は大変良好ですが、春から夏にかけて、PM2.5や光化学スモッグの原因となるオキシダントの濃度が高くなることがあります。ホームページ<sup>※3</sup>で測定情報をリアルタイムで公開していますので、ぜひご覧ください。

また、昭和62(1987)年から現在まで30年以上の長期に渡り、環境放射能水準調査(モニタリング)を継続して行っています。平成23(2011)年の東日本大震災津波による福島原発事故発生時には、放射能の空間線量率も高い状況でしたが、現在では震災前のレベルまで低下しています。この測定情報もリアルタイムで公開<sup>※4</sup>しています。

※3「いわての大気環境」

<http://www.iwate-taiki.jp/kanshi/mapg/>



※4「環境放射線モニタリングシステム」

<http://www.iwate-taiki.jp/radiation/pc/>  
<http://www.iwate-taiki.jp/radiation/mobile/>



希少動植物の保全に関する調査・研究のうち、植物に関しては、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に指定されている「アツモリソウ」の生息地での保全技術の普及を行っています。

さらに、本県の豊かな地域資源の活用策として、本県の早池峰山にのみ自生するハヤチネウスユキソウや国の保護指定種であるアツモリソウの花を使った花酵母の増殖に成功しています。

現在、この花酵母を地元・菓子メーカーに提供し、パンなどの新たな地域特産品の開発を支援しています。

動物に関しては、ツキノワグマやニホンジカの県内の生息個体数

の推計や、ツキノワグマの人里への出没メカニズム等を解明するため、GPSテレメトリー首輪の装着による行動追跡を行っています。また、全国的に絶滅が危惧される大型猛禽類のイヌワシの保全に向けた生息環境や行動調査を行っています。



写真：アツモリソウ



ニホンイヌワシ  
(撮影：岩手県環境保健研究センター 前田 謙)

写真：イヌワシ

## 検査部業務紹介 (検査部)

検査部は、平成17(2005)年に県内保健所の検査室を集約して設置された部署です。

業務としては、主に食品の安全安心を守るための検査や県民の財産である水環境の保全に関する検査を行っています。

食品の検査としては、保健所が行う衛生指導のため、牛乳・アイスクリームなどの乳製品やケーキなどの洋生菓子、食肉製品、清涼飲料水など主に県内で製造された製品の検査を行っています。

また、外部で調理された食品を家庭に持ち帰って食事をする、いわゆる中食(なかしょく)の増加といった生活様式の変化に対応し、スーパーなどで販売されているお惣菜やお弁当などの検査も年間を通じて行っています。

水に関する検査では、水環境の常時監視として県内の河川やダム、海域の水質測定を毎年1,300件ほど行っており、岩手県が推進する水質保全対策に役立てられています。

なお、これらの結果は年度ごとに取りまとめら

れ、「公共用水域水質測定結果」としてホームページ<sup>※5</sup>公表しています。

また、各振興局が県内の工場などに立入検査を行い、工場排水が法に定める基準を超過していないかを検査するための排水の汚染状態測定を年間400件程度行っており、工場排水による水環境の汚染防止に寄与しています。

水環境の検査の他にも県内では井戸水や沢水などの自然の水を生活用水に利用している家庭も多くあるため、それらの水が飲用に適しているかどうかを検査する「飲用水検査」も年間に約800件ほど行っています。

「飲用水検査」は有料になりますが、県内の各保健所で検査依頼の受け付けをしていますので、今までに検査を受けたことがない方はぜひ受検をご検討ください。

※5「公共用水域水質測定結果」

<http://env.pref.iwate.jp/>



## 遺伝子組換え食品検査について (衛生科学部)

遺伝子組換え食品とは、他の生物から有用な性質を持つ遺伝子を取り出し、その性質を持たせた動植物などに組込む(遺伝子組換え)技術を利用して作られた食品です。遺伝子組換え農作物とそれから作られた食品や遺伝子組換え微生物を利用して作られた食品添加物があり、従来の育種技術では不可能と考えられていた、害虫抵抗性や除草剤耐性の農作物を作るなどの利点があります。人間はもちろんですが、環境や動植物に支障をきたす恐れがないかなどの安全審査を経たものが認められています。

安全性が確認された遺伝子組換え農産物とその加工食品は、食品表示法に基づく表示が義務づけられ、大豆、とうもろこし、ばれいしょ、菜種、綿実、アルファルファ、てん菜及びパパイヤの8種類の農産物と、これを原材料として、加工工程後も組換えられたDNAやこれにより生じたたんぱく質が検出できる加工食品33食品群及び高オレイン酸遺伝子組換え大豆及びこれを原材料として使用した加工食品(大豆油等)が対象となっています。

平成17(2005)年に安全性審査済の遺伝子組換えトウモロコシのBt11種子(害虫抵抗性遺伝子)と混同され、安全性未審査のトウモロコシBt10種子が流通し栽培された事例を受け、当センターでは、平成30(2018)年までBt10の検査を実施してきましたが、この間Bt10は検出されたことはありませんでした。

令和元(2019)年は、安全性審査済みの遺伝子組換え大豆 RRS<sup>※6</sup>(除草剤成分グリホサート抵抗性遺伝子を組込み)を対象に4検体検査し、RRSは検出されませんでした。検査手順の概要は図1の通りになります。

安全審査済みの遺伝子組換え大豆は RRS のほ

かに、LLS<sup>※7</sup>(除草剤成分グルホシネート抵抗性遺伝子を組込み)やRRSの次世代系統のRRS2<sup>※8</sup>が収穫されており、国内に流通することが予想されています。令和5(2023)年からは表示が厳格化される予定となっていることから、当センターでは、上記の3遺伝子の同時検査ができるように準備を進めているところです。

また、遺伝子組換え大豆検査の他にも、小麦・そばのアレルギーマテリアル・残留農薬や動物薬・食品添加物などの検査を行っています。保健所、食肉衛生検査所とともに実施するモニタリング検査は、幅広い流通食品の安全と安心の確保に向けた重要な業務となっています。

※6 RRS = Roundup Ready Soybean

※7 LLS = Liberty Link Soybean

※8 RRS2 = Roundup Ready 2 Yield

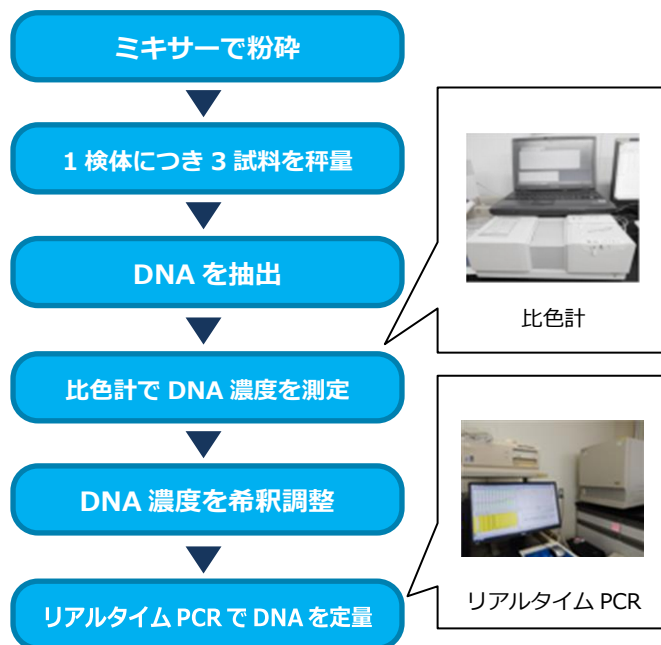


図1 安全性審査済み遺伝子組換え大豆検査概要

### 【編集後記】

今冬は、全国的に暖冬だと言われていますが、一部報道によれば、南極で観測史上最高となる20.75度の気温が観測されたとか。異常気象による自然災害も懸念される昨今。皆様も日頃からの備えを。さて、次号は令和2年5月の発行を予定。お楽しみに。(と)

### 《編集・発行》岩手県環境保健研究センター 企画情報部

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目11-16

TEL 019-656-5666 FAX 019-656-5667

メール: CC0019@pref.iwate.jp

ホームページ <https://www.pref.iwate.jp/kanhoken/>

